

様へ

説明看護師(外来)


































看護師(病棟)

月日	月 日	月 日	月 日
経過	入院日	手術当日	術後1日目
目標	心身ともに安定した状態で検査・治療が受けられる 術前ケア・準備の必要性が理解でき参加・実践できる 術後合併症予防のための計画された方法を実践できる 生活習慣の問題点を確認できる		術後合併症(出血・循環障害・血栓塞栓症・ 下肢麻痺・感染)をおこさない 心臓リハビリテーションプログラムに 沿ってリハビリが行える
検査			朝、採血を行います レントゲン撮影を行います
食事	夕食後より絶食になります ※麻酔科医師より経口補水食 OS-1 に ついて説明があります		絶飲食となります
	朝食は 自宅で		治療食再開となります ※希望があれば、消化のよい食事 (全粥食)にも変更できます
処置・観察	体温・脈拍・血圧・酸素飽和度を 測ります リストバンドを装着します (退院日まで装着します)		手術前に体温・脈拍・血圧・ 酸素飽和度を測ります 午前・午後 時から 手術が始まります 心電図モニターを装着します
	体温・脈拍・血圧・酸素飽和度を 測ります 毎日創部の状態を観察します 毎日体重測定をします 酸素投与を中止します 尿の管を抜きます 不整脈や変化がなければ 心電図モニターをはずします		
点滴・内服	持参薬、お薬手帳を看護師に お渡しください 就寝前に眠剤・下剤を服用します		手術後翌朝まで持続点滴を行います (首に挿入されている中心静脈点滴は、術後1日目に抜去します) ※血圧を調整するための点滴を行う場合もあります 手術後～術後3日目まで抗生剤の点滴を 3回/日(午前6時・午後2時・夜10時)行います (最後の抗生剤が終了したら点滴を抜去します) ※術後しばらく微熱が続くことがあります(ステント留置による反応熱です) 血液検査データを参考に、必要であれば抗生剤の点滴を続行する可能性があります 術後の痛み止め(PCA法;自己管理鎮痛法)の追加投与をご自分で行えます 痛みが強くなればポンプをご自分で押してください (ご自分でポンプを押すのが難しい時は、看護師かご家族に依頼してください) PCA法は術後1日目で終了します 終了後痛みが強くなってくるようであれば、 内服薬で痛みをコントロールします 常用薬の服用を再開します
	制限はありません シャワー・洗髪をしてください		朝シャワー浴をして 手術着に着替えます 入れ歯・時計・眼鏡・アクセサリは はずしてください 歩いて手術室へ行きます [手術後] 手術後から翌朝まで 床上安静になります (ヘッドアップ30°まで可能です)
行動	看護師が清拭します 心臓リハビリテーションを 開始します (リハビリテーションプログラムに 沿って実施します) 検査は車椅子でいきます		
説明	医師より説明 ・入院後の検査や治療計画について 麻酔科医師より説明 ・麻酔について ・経口補水食 OS-1 について 看護師より説明 ・入院生活について ・治療前後の処置・検査や 安静について ・生活習慣について ・ビデオ勉強会について ・心臓リハビリテーションについて 手術室看護師より説明 ・手術について 薬剤師より説明 ・持参薬確認・使用薬剤について		医師の回診があります
	医師の回診があります		

*** 入院に際して、この用紙を必ずお持ちください**

* 入院時に栄養状態を評価して栄養管理計画を立てます。定期的に栄養状態の再評価を行い計画を見直します。

* この表はおよその経過をお知らせしたものです。種々の都合により、予定通りではないこともあります。

月日	月 日～ 月 日	月 日	月 日～	月 日
経過	術後2～4日目	術後5日目	術後6日目以降	退院日
目標	術後合併症（出血・循環障害・血栓塞栓症・下肢麻痺・感染）をおこさない 心臓リハビリテーションプログラムに沿ってリハビリが行える	術後合併症（血栓塞栓症・感染）をおこさない 疾患と生活習慣の関連を理解できる	術後合併症（血栓塞栓症・感染）をおこさない 生活習慣を改善する必要性を認識し、具体的な改善目標を設定できる 退院後の注意点が述べられる	
検査	   手術後の経過をみるため、必要に応じてレントゲンやCT撮影、採血を行います			
食事	治療食再開となります ※希望があれば、消化のよい食事（全粥食）にも変更できます            			
処置・観察	 体温・脈拍・血圧・酸素飽和度を測ります ※リハビリを進めるごとに前後で脈拍・血圧を測ります 予定通りリハビリが進められたら、術後3日目からは毎日、朝・夕方にナースステーションに設置してある血圧測定器で血圧を測ります 体重は毎朝同じ時間に測定します（測定値は設置している用紙に記入してください） 毎日創部の状態を観察します		 毎日、朝・夕方にナースステーションに設置してある血圧測定器で血圧を測ります 体重は毎朝同じ時間に測定します 毎日創部の状態を観察します 創部に問題がなければ、絆創膏をとり診察は終了となります 退院時にリストバンドを外します	
点滴・内服	 前ページを参照ください	 常用薬の服用を継続します	 常用薬の服用を継続します	 常用薬の服用を継続します
行動	 術後3日目、状態が安定し医師の許可が出たら、創部・点滴挿入部を保護しシャワー浴をします ※初回は見守り下でのシャワー浴となります 初回のシャワー浴で問題なければ術後5日目より一人でシャワー浴をします  心臓リハビリテーションプログラムに沿ってリハビリテーションを継続します  検査は車椅子で行きます		 隔日シャワー浴をします ※創部に問題がなく医師の許可がでたら、創部の保護はせず、シャワー浴をします 創部をきれいに保ちます  毎日の心臓リハビリテーション目標をご自分で立て、それに合わせてリハビリを行います  歩行訓練が進み問題がなければ、検査は歩いて行きます	 特に制限はありません
説明	 医師の回診があります  看護師より説明 術後3日目 1回目の生活管理チェックを行います	 医師の回診があります  薬剤師より説明・薬剤指導  栄養士より指導 ・食事療法について ・個別及び集団指導	 医師の回診があります  看護師より説明 術後6日目 2回目の生活管理チェックを行います 退院日前日 最終生活管理チェックを行います	 医師の回診があります  看護師より説明 生活習慣の改善目標を確認します

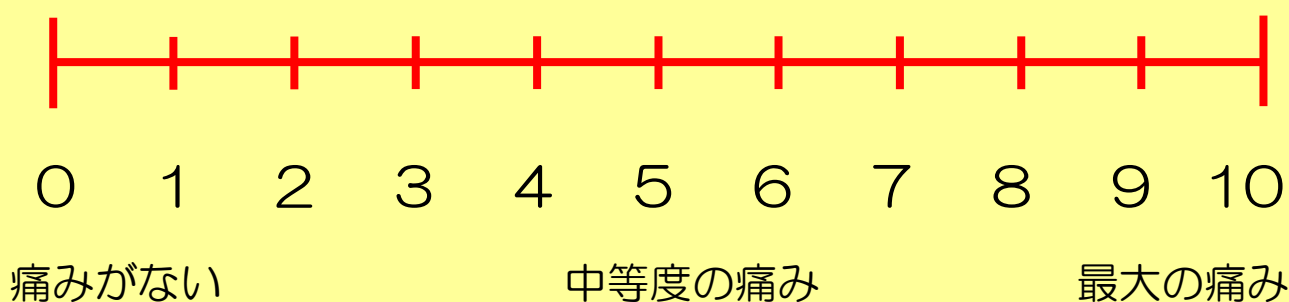
手術後の傷の痛みを教えてください

講習を受けた麻酔科医・看護師・薬剤師・臨床工学士で構成された術後疼痛管理チーム（APS）チームが、患者さんの傷の痛みに対して、手術前から計画を立て、傷の痛みが軽減するよう取り組んでまいります。

実際の傷の痛みに対して、NRS(Numerical Rating Scale)：痛みの評価スケールを使用します。0 から 10 までの 11 段階です。

👉 **手術後、どの程度の痛みかを数値で教えてください**

10 を最大の痛みとした場合
今の痛みはどのあたりですか



APS チームがサポートします。

よろしくお願いします。

